

ガーリー&ウエスタン

専門店/レディス

2月



⑥重ね着にイチ押しショート丈Tシャツ6195円、ワンピース8295円、ともに「ブランド&メルヴィル」
 ⑦1日2、3点ベースで売れ、取り置きも多い「レギング、パンツ」、「Jブランド」2万2830円
 ⑧1月中旬の投入後、1日10点ベースで売れている多柄切り替えのストール「フロミラエンポリウム」2940円

ローズパッド新宿店



レース、花柄、ダンガリーに芽



リーススマート自由が丘店



⑥売れ筋1位の白いコットンのロングワンピース8930円、チェック柄のドルマンリーブシャツ5985円すべて「リーススマート」
 ⑦サロベットはロング丈が売れている7980円、ニットジレ4515円、すべて「リーススマート」
 ⑧アウターで人気なのは、合皮を使った買やすい価格の春色変形ライダーズジャケット「リーススマート」8930円

売場観測

(価格は税込み)

雰囲気のものが多くなっていて、ともにワンピース、チュニック、コンビネゾン、スカートなどで当たりが強い。ワンピースやコンビネゾンは「丈の長いものが売れる」という店も。ダンガリーシャツは一部で、早くも品切れになった。

アウターはレザージャケットや薄手ブルゾン中心で、薄いベージュやパステルカラーなど春色が目立っている。トレンチコートはまだこれからといったところ。

小物は花柄などのストールや、カチューシャとヘアバンドを一体化させたカチューム、エスニック風パレスレット、編み上げやパンチングのショートブーツなど。大きな当たりはなく、服の方が売れているという店もある。



KBFギャレ大阪店

高密度で織ったハリのある綿素材のコート「ワズオウンKBF」1万1340円、ハンドペイント風の変形ポータープリントワンピース「KBF」9975円、テーパーが利いたダメージ加工のデニムパンツ「KBF」8925円

⑥ゴールドのボタンできれいめに仕上げたレザーブルゾン「レステマティック」5万1450円、花プリントと鮮やかな色合いが春らしいサロベット「アジアイングアストリー」1万4490円
 ⑦ミリタリーディテールのテラードジャケット「ラレグロ」1万9950円、プリントからリボンが下がるTシャツ「ファナティック」8925円、ヌーディーピンクのレーススカート「イニシアル・ワン・トゥエルヴ」9345円



イニシアル・ワン・トゥエルヴ



フィント名古屋バルコ店



シフォンのパフスリーブワンピース7980円、ライトピンクのフリル付きフェイクレザーブルゾン1140円、すべて「ペイビー&ペイビー」



ブランシュール心齋橋オーバ店

注目カラー、ライトピンクのライダーズジャケット「ブランシュール」3万5700円、カットソートップ「ブロンディ」9345円、レースとフリンジのミニスカート「ブランシュール」8295円

1月の結果

手堅い消費はセールになっても変わらず、よくて前年並み、なかには前年の8掛けとした店もあった。12月に前倒して顧客向けセールを実施したことでも新鮮な商品を欠けたり、気温が不安定だったことで厚手コートの動きが鈍く客単価が伸びなかった。福袋も例年より売り切れるのに時間がかかっている。店頭で少しでも鮮度を出そうと春物の立ち上がりは例年より早め、セールと同時に1月初めから投入したところもある。

ローズパッド新宿店 春物が飛んで一気に夏物ヘシフトしそ。ショート丈や肩シャーリングなどの目新しいカットソーに期待している。ロクな雰囲気はあえて抑えてガーリーにまとめる。世界で14万本売れている「Jブランド」の「レギング、パンツ」は新色が入るのでリピーターを増やしたい。靴は例年に比べ苦戦しているがスタッズなどを飾ったウエスタンブーツは当たりがよく、コスチュームに人気が振られてきているアクセサリーは大ぶりのパールネックレスに期待。

リーススマート自由が丘店 引き続きロングワンピース類に期待する。品切れ中のダンガリーシャツも様々なデザインが入荷するので、ワンピースとのコーディネートで見せる。アウターはモッズコートとトレンチコートの中間のようなデ

●今月のアピール

イニシアル・ワン・トゥエルヴ デニム人気を復調していることからカチューアル色は薄めず、ヌーディーカラーやシフォンの花柄プリントで春らしく柔らかなムードを出していく。レースのスカート、金ボタンできれいめに仕上げた薄色のレザーアウター、ミリタリーディテールを乗せたテラードジャケットが期待のアイテム。小物ではコサージュ付きのカンカン帽、アンティークっぽいロゴを描いたスクエア型のバッグなど、インパ

クトのある商品を描える。

フィント名古屋バルコ店 大学生が春休みに入ることから、買やすい軽めのコートなどのセール品を販売するが、パルコが17日から本格的に春夏商品を立ち上げるため、合わせて春物を強化する。目玉は引き続きシフォンの花柄パフスリーブワンピース、フロッキー加工のリップ付きショーツスカートにも期待している。また秋にもヒットしたフリル付きフェイクレザーブルゾンを投入し、ハードとソフトのテイストをミックスしたスタイルを提案する。

ブランシュール心齋橋オーバ店 レザージャケットを4型投入する。期待は襟の大きなライダーズ、コンパクトなシルエットのラム革で、きれいめに仕上げ

ている。ほかにビッグのノーカラー、パンチング仕様などがある。カラーはライトピンクやライトグリーンなどパステルが中心。「テンセル」カットソートップなど、インナーの提案でセット率アップを目指す。

KBFギャレ大阪店 春の立ち上がりは目を引くプリントワンピースをコーディネートに軸に据えてインパクトを出す。白黒のハンドペイント風ポータープリントや迷彩柄など、ボックスシルエットで丈が長めのゆったりとした商品が中心となる。アウターには薄手素材を使ったボリューム感のあるコートを用意。裏地を付けることで冬から春につながる商品にする。大きめのトップに対しボトムはコンパクト。ミニスカートやテーパーの利いたデニムパンツを合わせる。